

以下、実際に傷病者の搬送及び受入れの実施基準を定め運用している堺市域二次医療圏(拡大メディカルコントロール協議会(仮称))の例を示す。

疾病救急トリアージシート & 救急活動記録票										
救急隊名					覚知日時 平成 年 月 日 時 分					
医療機関到着日時 平成 年 月 日 時 分					搬送先医療機関:					
傷病者情報 氏名: □男・□女、M, T, S, H 年 月 日生 ( 歳)					ID:					
初期評価										
生理学的評価	気道閉塞、無呼吸		無	有	評価せず	状況評価	心肺停止	あり(CPA)	A	直近の医療機関等 リスト①
	脈拍触知せず		無	有	評価せず					
	GCS 4-5-6 = ( )		8以下	□	□	初期評価で 有にチェック	なし	有	B	救命救急センタ ー等
	または JCS = ( )		30以上	□	□					
	呼吸数 = ( )		10未満 30以上	□	□	なし	有	C	疾病別医療機関 リストを活用 リスト②③④⑤	
	SpO2 = ( )		90%未満	□	□					
	脈拍数 = ( )		50未満 120以上	□	□	なし	有	D	通常の救急医療機関へ	
	収縮期血圧 = ( )		90mmHg 未満	□	□					
	体温 = ( )		34℃未満 40℃以上	□	□	重症不整脈				
	重症不整脈		□	□	□					
全身詳細観察、SAMPLE										
主訴、 症候、 症状	② 循環器 疾患 以上	40歳以上	20分以上の持続する胸痛	無	有	評価せず	MCが示す別の基準 ( )	なし	有	通常の救急医療機関へ
			肩、下顎(歯)、上腹部、背部の激痛	□	□	□				
			心臓病+胸部不快感	□	□	□				
			心電図モニター(II, CB5, CM2)でSTの上昇	□	□	□				
	③ 成人 対象 脳血管 障害		片側の麻痺	□	□	□	MCが示す別の基準 ( )	なし	有	通常の救急医療機関へ
			一侧のしびれ感	□	□	□				
			言語障害	□	□	□				
			片側の失明	□	□	□				
	④ 消化 管内 科		吐血または血性吐物	□	□	□	MCが示す別の基準 ( )	なし	有	通常の救急医療機関へ
			下血	□	□	□				
		消化器症状+高度な貧血	□	□	□					
		MCが示す別の基準 ( )	□	□	□					
⑤ 急性 腹症		急な発症の腹痛(尿路結石を強く疑う場合は除く)	□	□	□	MCが示す別の基準 ( )	なし	有	通常の救急医療機関へ	
		筋性防御、反跳痛	□	□	□					
		歩行時に響く腹痛	□	□	□					
		(♂) 鼠径部腫脹+腹痛+嘔吐	□	□	□					
重症不整脈										
医療機関選定理由 ( □A, □B, □C#, □D )										
# : Cの活用した場合					取容決定までの医療機関への依頼回数: ( 回)					
③④における当番病院名					病院; □依頼せず/□収容可/□収容不可; 不応需理由→					
					病院; □依頼せず/□収容可/□収容不可; 不応需理由→					

隊長コメント

---

初期診療担当医コメント

搬送先医療機関記載				
救急 外来	初期診療担当	診療科:	担当医:	
	病態・処置	病態または診断名:	処置:	
	初期診療後の経過	□ 帰宅 □ 外来死亡 □ 入院 □ 同日転送**		
** 転送先医療機関名				
入院	入院後の担当	診療科:	主治医:	
	確定診断名			
	主たる治療	□ 保存的治療 □ PCI □ t-PA □ 開頭術 □ 開腹術 □ 内視鏡的処置		
	内容	□ 手術療法	所見:	
		□ 心臓カテーテル		
□ 内視鏡検査と処置				
□ その他				
術名または処置内容:				
退院日 年 月 日				
転帰 退院時の状況 □ 自宅退院、 □ 転院、 □ 死亡				
転院先医療機関名				
回答		回答部署:	回答者:	

連絡欄	
消防機関→医療機関	MC協議会検証